



第 15 号

社員の皆さん、毎日のお仕事、大変お疲れ様です。

先月で、上半期が終わり、今月より下半期へと入りました。上半期の日本経済は、あらゆる物が高騰をして、日本国民が生活をしていく上において、先行きが不安な状況が、今もなお続いております。そんな中、わが社においても、燃料高騰という非常に、頭が痛くなる状況が続いております。

そんな状況の中で、わが社のドライバーさん達は、優しい運転を心がけ、安全運転に取り組んでもらっております。社内のルールでも有りますが、一般道路では、原則法定速度以下とし、最高速度が60km/hをオーバーしない。また、高速道路においては、大型トラックは、法定速度の80km/h以下とし、小型車、中型車においては、90km/h以下としており、全てのドライバーさんが、意識的に取り組んでいただいております。

また、車間距離に関しては、前方の車両との車間距離を、時間で測り4秒として、取り組んでおります。結果として、この取り組みは、エコドライブにも繋がっており、環境問題への取組みと、社内においては、交通事故防止と、経費削減効果へと、大きく繋がっております。一人の取組みは、数字で見ると、わずかなものですが、ドライバー70名が、一つになると大きなモノになります。(感謝😊)

まだまだ、厳しい状況は続きます。この状況に苦言を言うのではなく、この厳しい状況を、プラスに転じることが出来る様、社員全員で取り組んでいきます！！

【9月の健康管理目標】

●**転倒によるケガや健康悪化を防ごう**

40代～50代から増加する転倒災害

日本の職場で、休業4日以上死傷災害として最も多い事故は何か、ご存知ですか。それは「転倒災害」です。

誰でも、段差に気づかなかつたためにつまづいたり、濡れた床面ですべって転ぶことがあります。日常生活の事故でも実際に最も多いのは転倒です。

年齢的に65歳以上の高齢者に多いことは以前から指摘されていますが、40代～50代の事故も多発傾向にあります。

日本転倒予防学会では、転倒の原因が加齢による筋肉等の衰えと疾病による影響だけでなく、コロナ禍の運動不足も関係しているのではないかと考え、警鐘を鳴らしています。

また、最近では20代、30代の若者でもスマートフォンを見ながらの歩行中に、段差などでつまづく危険があるので注意が必要です。

転倒して骨折などをすると、ますます運動不足がすすみ、若い人でもその後の健康状態が悪化するきっかけとなりやすいので、気をつけてください。



転倒危険性のチェックをしよう

下は「転倒注意」を促すチェックリストです。自分の職場や生活環境でこんな場面がないか注意しましょう。

なお、過去1年以内に転倒した経験のある人で、床面が濡れていたなどの要因がない場合は、運動不足になって自分で思う以上に脚力が衰え、転倒のリスクが高まっている恐れがあります。

このほか、高血圧の治療薬や睡眠導入剤などを最近飲み始めた人は、副反応に慣れるまで、歩行中に急にふらついて転倒する危険があることを自覚してください。

ふらつき・転倒防止には、なんといってもまず適度な運動やストレッチ、筋肉トレーニングなどで、足腰の筋肉の衰えを防ぐことが大切です。

また、滑り止めが貼られた動きやすい靴を履いて作業をするなど、足元への配慮も重要です。



### ●職場の転倒危険チェックポイント

- 床面が濡れていたり、オイル等で汚れていないか
- 階段の段差が、異なる高さになっている場所はないか
- 資材などが置きっぱなしになっている場所はないか
- 電源コードなどが、人の通る場所で床の上に浮いている場所はないか
- 梱包用バンドなどが、片付けられずに置いてある場所はないか
- 段差があるのに、「段差注意」標示の欠けている場所はないか
- 階段や段差があるのに、照明の暗い場所はないか

みんなの  
合言葉!

# 横断歩道では

# 必ず安全確認!



~事故にあわない、  
おこさない~

# 秋の全国交通安全運動

9月30日 金 は「交通事故死ゼロを目指す日」です

令和4年9月21日(水)~9月30日(金)



子供と高齢者を  
始めとする  
歩行者の安全確保



夕暮れ時と夜間の  
歩行者事故等の防止  
及び飲酒運転の根絶



自転車の  
交通ルール  
遵守の徹底



チャイルドシート着用  
推進シンボルマーク  
「カチャビョン」



交通安全  
サイトへ!

内閣府・警察庁・国土交通省・JAF

安全  
宣言

# 9月30日(金)は 「交通事故死ゼロを目指す日」です

安全  
宣言

## 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保

左右を確認!



反射材を活用しよう!

歩行者も交通ルールを守ろう!  
反射材を活用しよう!

歩行者が横断中の交通事故が多発しています。交差点では信号を守るとともに、横断歩道でも走行車両がないことを確認してから渡りましょう。また、反射材を活用しましょう。

「ゾーン30プラス」を整備しています

最高速度30キロの区域規制とスムーズ横断歩道等の適切な組み合わせにより、人優先の安全・安心な通行空間を目指しています。地域・家庭で、日頃から通学路等の安全を確かめましょう。



「スムーズ横断歩道」  
横断歩道が  
盛り上がっています



### 子供から高齢者まで、 みんなで交通ルールを守って 交通事故をゼロにしよう!

## 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶

歩行者を優先しよう!



横断歩道は歩行者が優先です  
夕暮れ時は早めのライト点灯を!

横断歩道は歩行者優先で、運転者には横断歩道手前での減速義務や停止義務があります。また、秋になると日没時間が早まります。夕暮れ時は、早めのライト点灯を心掛けましょう。

お酒を飲んだら運転しない、  
させない!

飲酒運転は、極めて悪質・危険な行為です。「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い気持ちを持ちましょう。また、歩行者や他の車両に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持った運転を心掛けましょう。



飲酒運転はダメ!

## 自転車の交通ルール遵守の徹底

ヘルメットを着用!



大人も子供もヘルメット着用!

自転車のヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて高くなります。自転車に乗る時は、大人も子供もヘルメットを必ず着用しましょう。

自転車にも交通ルールがあります  
～自転車安全利用五則～

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
5. 子どもはヘルメットを着用

スマホ・イヤホン  
ながら運転禁止!



# 秋の全国交通安全運動

令和4年 9月21日(水)～30日(金)

内閣府

# 秋の全国交通安全運動に参加しよう

## 2022年秋の全国交通安全運動

9月21日から、秋の全国交通安全運動が実施されます。運動期間中は、運転者の安全運転意識をたかめるチャンスです。

交通安全活動を実施するとともに、自治体の運動にも積極的に参加していきましょう。

今年の実施要項は以下のような内容です。

### ○運動期間

2022年9月21日（水）～30日（金）までの10日間。

### ○運動重点

- ★ 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保
- ★ 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶
- ★ 自転車の交通ルール遵守の徹底

## ★★★★交通事故死ゼロを目指す日★★★★

【9月30日（金）】

安全活動を展開しよう

ドライバーさん達が、現場で実施してもらう遵守事項が、以下となっております！！

- ★飲酒運転は、絶対にしない。
- ★歩行中や自転車乗車中の子供や高齢者を見かけた時は、徐行するなど、その行動に配慮した思いやり運転を励行する。
- ★夕暮れ時には、自社の接近を知らせるため、早めのライト点灯をする。(16時点灯開始)
- ★周りの車等に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ち、重大な交通事故につながる悪質性・危険性の高い危険運転（あおり運転）をしない。
- ★信号を守り、車間距離の適切な保持など追突事故防止に努める。
- ★横断歩道に歩行者を見かけたら、横断歩道手前で一時停止し、歩行者の横断を妨げない。



  
**秋の交通安全運動実施**  
(社福岡県)

**無事故への挑戦!!**  
**追突事故ゼロ!!**  
**なから運転の撲滅!!**

モノを動かさなげや  
日本の明日はない

**KARAGUCHI**  
株式会社 原口商事

**交通安全運動実施**

交通安全事故ゼロを目指す

むちやするな!  
じかにゆと

（公社）福岡県